



山腰 恵一 議員

空き家の適正管理と有効活用の推進を！

空き家対策について

問 空き家の増加による市民への影響をどう捉えているか。

答 適切に管理されていないものは、防犯・火災の問題や倒壊等のおそれがあり市民生活に大きな影響があると考える。

問 実態を把握するための調査が必要では。

答 調査の手法や結果後の対応方針を決めて実施していく。

問 空き家対策推進特別措置法では、市が「特定空き家等」に認めれば、指導・勧告・命令・撤去ができる。その判断の流れは。

答 国のガイドラインに即して県の助言を得て適切な対応を進める。

問 中心市街地及びその周辺は味わいある古民家等がある。町並み景観保存の観点から対策が必要ではないか。

答 町の魅力を維持していくため、所有者や地域の方などと有効活用の取り組みを進めているが、今年度から「株まちづくり飛騨高山」において空き家調査を行い、活用促進に取り組むこととしている。

災害に強いまちづくりについて

問 台風の接近による大規模水害の発生に備え、各関係機関が「いつ、誰が、何をやる」のか時間軸に沿った事前防災行動計画（タイムライン）を策定することで被害の最小限化が可能となる。策定の考え

は。

答 本市の実情に応じた変更や改良が必要である。関係機関等と調整し検討を進める。

問 事前防災行動の考えに基づくきめ細かな情報提供が必要ではないか。

答 注意喚起等、早い段階での情報提供に努める。



ふるさとへの投資について

問 「クラウドファンディング」は、自治体や民間団体等が企画したプロジェクト等に賛同した方からインターネットを通じて出資を募り実現させる取り組みで、その活用により地域の活性化が期待される。活用の考えは。

答 民間の動向にも注視し研究課題として取り組む。



中箴 博之 議員

ご縁を活かし幅広い高山応援団を

高山とつながる仕組み

問 高山に支店や営業所のある企業に赴任された方々とのご縁を活かす取り組みを。

答 「高山に勤務してよかった」という声を聞くことは多いので、高山らしいオリジナリティのある仕組みづくりを本年度中に考えたい。

市民協働と町内要望

活用分野の拡大も含め、市の旬な情報のPRに積極的に取り組みたい。

町内要望の見直す意義は。

答 地区の課題を共有し全体の利益を考えた「市民が主役」のまちづくりがさらに進むと考える。

町見直しの内容は。

答 毎年3月末までに情報提供書として提出いただくことで、年度の早い時期から対応ができ、また案件ごとの個票とすることで迅速な対応も可能となる。

1千万円という予算枠は公平なのか。

答 市道等の維持修繕について、地区の意向を反映する仕組みとして、



問 SNS等のサイトを有効活用してファン層の幅を拡大しては。

答 ささまざまなツールや

今年度は一律に地区1千万円とした。

行政改革と人材育成

問 人事異動に適材適所の考えはあるのか。

答 本人の意向も踏まえた上で、個々のキャリアや経験年数を考慮し人員配置している。

問 大手広告代理店電通など民間企業への派遣研修の方針は。

答 民間への派遣による成果は大きく、現在は日本政府観光局や日本貿易振興機構など企業的な活動をする団体へ派遣している。

問 徹底した事務事業の見直しが必要では。

答 選択と集中による重点化や行政の担うべき役割の見直しの観点から検証、見直しに取り組みたい。

問 寒冷地手当こそ見直すべきでは。

答 国家公務員の給与制度に準拠して寒冷地手当を支給しており、今後とも人事院勧告を尊重していく。